

# 令和2年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)



令和2年1月10日

上場会社名 株式会社ブロッコリー  
 コード番号 2706 URL <https://www.broccoli.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部長  
 四半期報告書提出予定日 令和2年1月10日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

(氏名) 高橋 善之  
 (氏名) 渡邊 朋浩

TEL 03-6685-1366

(百万円未満切捨て)

## 1. 令和2年2月期第3四半期の業績(平成31年3月1日～令和元年11月30日)

### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2年2月期第3四半期	4,435	△2.1	618	1.5	632	1.0	470	11.3
31年2月期第3四半期	4,532	18.0	609	66.7	626	64.9	422	64.3

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2年2月期第3四半期	53.79	—
31年2月期第3四半期	48.35	—

(注)平成30年9月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っております。平成31年2月期の期首に株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2年2月期第3四半期	10,911	9,545	87.5
31年2月期	10,282	9,302	90.5

(参考)自己資本 2年2月期第3四半期 9,545百万円 31年2月期 9,302百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
31年2月期	—	0.00	—	26.00	26.00
2年2月期	—	0.00	—		
2年2月期(予想)				24.00	24.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

令和2年2月期(予想)の配当性向は39.6%となります。

## 3. 令和2年2月期の業績予想(平成31年3月1日～令和2年2月29日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,100	2.1	700	△13.5	730	△12.5	530	△3.7	60.59

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2年2月期3Q	8,747,642 株	31年2月期	8,747,642 株
② 期末自己株式数	2年2月期3Q	372 株	31年2月期	372 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2年2月期3Q	8,747,270 株	31年2月期3Q	8,747,367 株

(注)平成30年9月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っております。平成31年2月期の期首に株式併合が行われたと仮定し、期中平均株式数(四半期累計)を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1.本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が発表日及び現時点で入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成されたものでありますが、業績等につきましては様々な要因により、今後大きく異なる可能性があります。

2.当社は、「財務諸表等規則」に従い財務諸表を作成しております。

3.当社は、令和元年8月30日に株式会社LANTERN ROOMSの株式を100%取得したことに伴い、同社を子会社化しておりますが、資産、売上高、損益、利益剰余金に及ぼす影響が僅少であり、現時点では重要性が乏しいため、非連結子会社としております。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当社が属するエンターテインメント業界におきましては、国内外の持続的なスマートフォンゲーム市場の成長・国内家庭用ゲーム市場の順調な拡大を背景に、ゲームコンテンツ市場と関連するキャラクター市場は、世界的にも長期的に高成長が続くと見込まれております。こうした中、当社は令和2年2月期から令和4年2月期までの3ヶ年を実行期間とする中期経営計画「Go to the Next Stage 次のステージへ突き進め!」を策定し、取り組みを進めております。

このような状況下における当第3四半期累計期間（自平成31年3月1日至令和元年11月30日）の経営成績概況は、以下のとおりであります。

まず、本年に9周年を迎えた『うたの☆プリンスさまっ♪』におきましては、『劇場版 うたの☆プリンスさまっ♪ マジLOVEキングダム（以下、劇場版）』（製作委員会運営）を6月より公開、12月12日時点におきまして興行収入は18億円を突破しました。当社におきましても9周年の記念作品や関連イベント・商品リリースを行いました。

関連グッズにおきましては、株式会社ムービックと共同運営にて開催した夏季限定ショップ「SHINING STORE 2019」の後半期間に際し、株式会社グラムのスイーツアクセサリブランド「Q-pot. (キューポット)」とコラボ限定グッズ販売を行う等の自社イベント開催や、他社女性向けイベントへの出展を重ねてまいりました。劇場版の大ヒットによるイベント集客効果は上期より継続し、関連グッズの販売好調は売上高・売上総利益に多大に寄与しております。

なお、劇場版は製作委員会の運営案件であり、本件の収益配分におきましては、令和2年4月に埼玉・メットライフドームにて2日間開催するライブ公演「マジLOVELIVE 7th STAGE」のプレミア先行抽選申込コードを封入したDVD & Blu-rayを12月25日に発売、これらパッケージ商品の収入配分も含め、来期の上半期内に精算する見込みとなりました。

関連CDにおきましては、「ST☆RISH」7人のソロベストアルバムを企画。7作品のうち、一ノ瀬トキヤ「Target is you!」、神宮寺レン「Rose Rose Romance」、来栖 翔「Sweet Kiss」の3作品を9月より11月にかけてリリースいたしました。これらの結果、関連CDは前年同期を3倍近く上回る売上高・売上総利益を得ることができました。

ゲームアプリ『うたの☆プリンスさまっ♪ Shining Live』は、上述のソロベストアルバム発売に併せてゲーム内の記念イベントを開催したこともあり順調に売上高・売上総利益を確保いたしました。

一方他社ライセンスグッズは、他社イベントの開催時期が前年と異なることから当四半期におきましては卸売上が前年同期を下回りましたが、一部製品において海外直生産の効果も上がり、継続して採算が改善しております。

また、他社ライセンスのフィギュアにおきましては、クオリティの向上とブランディングの継続が奏功、前年同期を上回る売上高・売上総利益を確保いたしました。

トレーディングカードゲーム『Z/X -Zillions of enemy X- (ゼクス ジリオンズ オブ エネミー エックス)』（以下、『Z/X (ゼクス)』）は好調に推移し、売上高・売上総利益共に、前年同期を大幅に上回りました。

10月よりTVアニメ「Z/X Code reunion (ゼクス コード リユニオン)」と連動して配信を開始したゲームアプリ「Z/X Code OverBoost (ゼクス コード オーバーブースト)」におきましては、リリース当初から想定した売上高を確保するに至らず営業赤字が継続しており、立て直しが大きな課題となっております。継続したアップグレード、魅力的なゲーム内イベントと共にWebプロモーションにも注力し収益改善に努めてまいりますが、当該ゲームアプリの運営方針については、引き続き検討を重ねてまいります。

総じて、『うたの☆プリンスさまっ♪』関連音楽CDや、トレーディングカードゲーム『Z/X (ゼクス)』等の利益率が高い商品群の販売好調に伴い、売上総利益率は40.7%と前年同期比5.3ポイント改善。広告・宣伝に係る販促費の増加、及び中期経営計画推進に基づく人員拡充に伴う人件費等、販売費及び一般管理費が増加した結果、当第3四半期累計期間の売上高は4,435百万円（前年同期比2.1%減）、営業利益618百万円（同1.5%増）、経常利益632百万円（同1.0%増）、四半期純利益470百万円（同11.3%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### (流動資産)

当第3四半期会計期間末における流動資産の残高は8,063百万円で、前事業年度末に比べ187百万円増加しております。主な内容は、売掛金の増加78百万円、商品及び製品の増加97百万円、仕掛品の増加101百万円、映像コンテンツの増加178百万円、その他の増加107百万円などの増加要因に対し、現金及び預金の減少374百万円などの減少要因であります。

### (固定資産)

当第3四半期会計期間末における固定資産の残高は2,848百万円で、前事業年度末に比べ441百万円増加しております。主な内容は、無形固定資産の増加350百万円、投資その他の資産の増加127百万円などの増加要因に対し、有形固定資産の減少36百万円であります。

### (流動負債)

当第3四半期会計期間末における流動負債の残高は1,284百万円で、前事業年度末に比べ429百万円増加しております。主な内容は、買掛金の増加29百万円、賞与引当金の増加22百万円、返品調整引当金の増加6百万円、その他の増加471百万円などの増加要因に対し、未払法人税等の減少70百万円、役員賞与引当金の減少31百万円などの減少要因であります。

### (固定負債)

当第3四半期会計期間末における固定負債の残高は81百万円で、前事業年度末に比べ43百万円減少しております。主な内容は、役員退職慰労引当金の減少42百万円などの減少要因であります。

### (純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産の残高は9,545百万円で、前事業年度末に比べ243百万円増加しております。これは、四半期純利益470百万円が計上された一方で、剰余金の配当227百万円が行われたことが主な要因であります。

## (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

令和2年2月期通期業績予想及び配当予定につきましては、変更はありません。

なお、業績見通し等の将来に関する記述は、当社が発表日及び現時点で入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成しておりますが、業績等につきましては経営環境の変化やその他様々な要因により大きく異なる可能性がありますので、その場合には開示が可能となった時点で速やかに業績予想の修正を公表いたします。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成31年2月28日)	当第3四半期会計期間 (令和元年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,056,395	6,681,766
売掛金	507,174	585,776
商品及び製品	78,696	175,809
仕掛品	92,166	193,813
原材料及び貯蔵品	797	895
映像コンテンツ	—	178,262
その他	142,599	249,709
貸倒引当金	△2,078	△2,589
流動資産合計	7,875,750	8,063,444
固定資産		
有形固定資産		
建物	1,218,017	1,219,453
減価償却累計額	△214,831	△250,434
建物(純額)	1,003,185	969,019
土地	907,414	907,414
その他	131,215	135,850
減価償却累計額	△87,530	△94,860
その他(純額)	43,684	40,989
有形固定資産合計	1,954,284	1,917,423
無形固定資産	227,616	578,262
投資その他の資産		
その他	232,445	359,933
貸倒引当金	△7,546	△7,546
投資その他の資産合計	224,898	352,387
固定資産合計	2,406,800	2,848,074
資産合計	10,282,551	10,911,518
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	302,207	332,027
未払法人税等	164,471	94,355
返品調整引当金	74,133	80,999
賞与引当金	44,472	66,942
役員賞与引当金	54,000	23,000
その他	215,532	686,898
流動負債合計	854,817	1,284,222
固定負債		
退職給付引当金	22,618	23,368
役員退職慰労引当金	44,816	2,791
その他	57,697	55,282
固定負債合計	125,131	81,442
負債合計	979,948	1,365,664

(単位：千円)

	前事業年度 (平成31年2月28日)	当第3四半期会計期間 (令和元年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,361,275	2,361,275
資本剰余金	2,066,627	2,066,627
利益剰余金	4,873,663	5,116,789
自己株式	△781	△781
株主資本合計	9,300,785	9,543,910
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,817	1,942
評価・換算差額等合計	1,817	1,942
純資産合計	9,302,602	9,545,853
負債純資産合計	10,282,551	10,911,518

## (2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成30年3月1日 至平成30年11月30日)	当第3四半期累計期間 (自平成31年3月1日 至令和元年11月30日)
売上高	4,532,881	4,435,750
売上原価	2,929,230	2,631,667
売上総利益	1,603,650	1,804,083
販売費及び一般管理費	993,904	1,185,465
営業利益	609,746	618,618
営業外収益		
受取利息及び配当金	97	191
不動産賃貸料	57,459	56,814
その他	5,339	1,292
営業外収益合計	62,896	58,298
営業外費用		
支払利息	371	229
不動産賃貸費用	45,939	44,239
その他	62	47
営業外費用合計	46,374	44,516
経常利益	626,268	632,400
特別利益		
保険解約返戻金	—	52,002
特別利益合計	—	52,002
特別損失		
固定資産除却損	353	49
固定資産処分損	12,205	—
リース解約損	—	192
特別損失合計	12,558	241
税引前四半期純利益	613,710	684,161
法人税等	190,815	213,606
四半期純利益	422,894	470,554



(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

当社はエンターテインメント事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。